



日本サーフィン連盟  
国際専門委員会  
委員長 吉永 修さん

### サーフィンで地域活性の起爆剤に

昨年の夏、アメリカで行われたサーフィン世界大会「U.Sオープン戦」で、日本人サーファーの大原洋人選手が優勝し、日本サーフィン界史上初となる大快挙を達成しました。それと同時期に、2020年東京大会種目追加の検討会議が始まり、私たちはサーフィンの正式種目化に向け「推進委員会」を立ち上げ、積極的な活動をしてきました。これにより、サーフィン業界では今までにない大きな流れが生まれ、日本全体にサーフィンへの注目度が高まっています。

私たちは正式種目化を目指すとともに、オリンピック競技で勝つために、昨年に引き続き、牧之原市での選手候補者の強化合宿を予定しています。また、4年後の開催や今後の競技に向けて、10代から20代の若手の育成にも力を注いでいます。

誘致活動を機に、サーフィン関係者だけでなく地域の皆さんとも連携して、オリンピックに向けた海岸エリアの活性化につながってほしいです。



### 今できることに全力で取り組みます

牧之原市は、サーフィンを行う環境として好条件がそろっており、また住んでいる人の魅力やお茶をはじめとする農産物も豊富です。2020年東京五輪サーフィン競技会場の誘致は、そんな市の魅力を世界に発信できる絶好の機会でもあります。それと同時に、富士山静岡空港の活用を有効的に進めるべく、インバウンドのお客様が満足していただけるおもてなしや交流ができるホストタウンの環境づくりも求められます。この誘致活動はサーフィン関係者だけでなく、全ての市民のみならずと共「オールまきのはら」での取り組みにしていきたいと考えています。



牧之原市産業経済部  
部長 小栗弘行

サーフィンするなら牧之原市

## 牧之原市移住者サイト

『シズフォルニア』  
雪が降らない暖かい気候。  
いい波、いい飯、いい人たち。  
ここ牧之原市は、  
サーフィンライフを楽しむ  
移住者であふれています！

牧之原市はサーフポイントが多数点在し、温暖な気候で一年中サーフィンが楽しめます。また、広大なお茶畑やたくさんの企業が立地しており、農業や漁業などのほか、工業やサービス業までさまざまな仕事があります。海の幸、山の幸、なんでもそう、静岡のカリフォルニア「シズフォルニア」(牧之原市)でお待ちしております。

牧之原移住サイト「シズフォルニア」詳しくはこちら

<http://makinoharalink/immigrate/shizufornia/>

# WELCOME TO MAKINOHARA

## 2020 東京五輪決起大会 IN 静波

「サーフィン競技」開催は牧之原市で！

A nice place  
it is Makinohara!



東京五輪・サーフィン開催地誘致へ一丸

2020年東京五輪・パラリンピックの追加種目として提案されているサーフィンの開催地・事前合宿地の誘致を目指す市の誘致委員会が4月10日、静波海岸で決起集会を開催しました。

集会には、地元サーファーをはじめ自治会や観光、商工の関係者など、約300人が集結。誘致の実現へ向け決意を新たにしました。

西原市長は「牧之原市を世界にアピールできる機会。誘致活動では、静岡空港がある利点を訴えていく」と話しました。また、静波海岸でサーフィンの技術を磨く小中学生8人も登壇し、「世界の上手な選手を目の前で見られれば最高」、「僕たちもオリンピック選手になれるように頑張りたい」と夢を語ってくれました。

最後は、参加者全員で「ウェルカム トゥー 牧之原」と氣勢を上げ、みんなで一斉団結しての新たなスタートとなりました。

集会終了後には、参加者全員で海岸清掃を行いました。

①オリンピック選手を目指す小中学生サーファーたち  
②決起集会に駆けつけたチャーフイン・マキティー・さかべっちと記念撮影をするサーファーたち  
③決起集会後に参加者全員で行った海岸清掃

